



Press Release

令和2. 5. 26

農産園芸課

(内2570)

花き活用拡大支援事業が6月1日からスタート

新型コロナウイルス感染症に伴う経済対策として4月の補正予算で予算化した「花き活用拡大支援事業」を、来週月曜日（6月1日）から開始します。

1 事業の背景と目的

- 花きは、需要期である3～4月に、新型コロナウイルス感染症の影響で卒業式・入学式等が中止・縮小されたことにより、花きの需要が大きく縮小し、生産農家や生花店は厳しい状況
- 厳しい状況にある花き生産農家や生花店を支援するため、関係団体と連携して、花きの活用と新たな需要創出に取り組む。

2 事業の内容（詳細は別紙参照）

(1) 小中学校等花活け

- 全県下の小中学校等（延べ約8,000クラス）に花を飾り付ける。

(2) Myスタンドブーケによる職場ユースの創出

- 職場のデスク上に飾る花材を新たに作成し、「職場ユース」という新たな需要を創出する。

(3) その他

- (1) 及び (2) に続き、「県内交通主要箇所への大型花活け」や「インバウンド向け生け花体験」などを展開し、新たな需要創出を図る。

3 事業開始

- 令和2年6月1日（月）

【お問合せ先】

農林水産部 農業振興局 農産園芸課

TEL (089)912-2570（野菜・花き係）

(事業費:73,710千円)

6月1日より実施

小中学校等花活け

[1回目] 6月1日、2日、9日
[2回目] 6月中旬以降順次実施

- 延べ約8,000教室を対象とする。
- 教室にフラワーアレンジ等を飾り付けることにより、生産者、生花店を直接支援する。
- 児童生徒には花の補助教材を配布し、県産花きに関する情報を発信する。
- 花のある生活を感じた小中学生が、将来の花の購入者となることを期待。



児童・生徒



生産者



市場



お花屋さん
(生花店)

Myスタンドブーケによる職場ユースの創出



カップ
保水ゼリー

[1回目] 6月1日
[2回目以降] 6月中旬以降順次実施
・500個 × 4回
・ニーズ把握のためのアンケート調査

- 職場のデスク上に飾るブーケを試作し、主要駅で通勤者に配布し、配布者にはアンケートを行い、ブーケの評価、改善点等を調査する。



今後の取り組み

大型花活けによる花のある豊かな生活文化の醸成

大型花オブジェ設置による花のある豊かな生活文化の醸成 (3か所×2回)
[1回目] 6月13日～19日
[2回目] 6月下旬以降



インバウンド向け生け花体験



7月以降実施予定

- 公共施設で大型花オブジェを展示し、直接的な需要喚起を図るとともに、見ることで花への関心を高め、家庭消費の喚起を図る。

- 県内ホテル等において、延べ300人外国人を対象に、生け花体験を実施。